

## 平成 28 年度 日野春學舎構想 事業計画

当法人が平成 25 年度に準備をスタートした広域的公益活動「日野春學舎構想」の取り組みは、平成 26 年度から日本財団の助成を得て活動を本格開始し、平成 27 年度は外部識者の協力も得て各部門の活動を拡充させる年となった。

活動の本格開始から 3 年目となる平成 28 年度は、構想全体の自立を確立させる年度とすることを目標としている。すなわち、「農業部門」においては、農産物の生産加工技術の向上を図り、商品開発及び宣伝による販路の拡大と定着を進め、中間的雇用の場を作ること。「ブリッジスクール部門」では、従来の就職困難者への就労支援（キャリアコース）に加えて、ひきこもりや発達障害など、他者との関係性を築き難い方達を対象に、社会との架け橋を再構築することを目標とするグループ（語り場コース）を新たに開設し、より多様なニーズに応えること。さらに、昨年度から福祉医療機構からの助成を得て活動している「アート企画部門」では、アート活動を通して広域的な魅力発信と活動連携の輪を広め、福祉の枠組みに留まらない社会との相互支援及び協力関係を構築することを目標とする。

構想全体としては別図「平成 28 年度日野春學舎構想基本構想図」に図示した通り、3 部門の連携をより強化し、活動の相互補完と推進力強化を図りたい。

また、活動をより広く社会に意義のあるものへと昇華させ、継続的な自立活動への道筋を付けるため、アート関連では厚生労働省の「障害者の芸術活動支援モデル事業」等の各種助成事業との連携も視野に、事業の公益性を活かした各種助成金の活用を図る他、社会的投資をも呼び込むための方策も検討していきたい。

「平成 28 年度日野春學舎構想基本構想図」

